

報道関係者各位

2020 年 11 月 12 日

- RAD-AR 10,000 Series, Vol.5 -

「妊娠・授乳とくすり」サイト、100 万アクセスに

一般社団法人 くすりの適正使用協議会（東京都・中央区、以下協議会、理事長：俵木登美子）が製作した情報サイト「妊娠・授乳とくすり」のアクセス数は、現在 10 日間で約 **10,000** アクセスを継続しており、2017 年 7 月のサイト公開後、累積アクセス数が 100 万を超えました。

<https://www.rad-ar.or.jp/use/maternity/>



出産経験者の 3 人に 1 人が「妊娠に気付かず薬を飲んで不安になったことがある」、3 人に 2 人が「自己判断で薬を我慢した経験がある」…。

このように、健康な赤ちゃんの誕生と成長を願うママたちは、妊娠中・授乳中の薬の服用について強い不安を感じています（協議会調べ）。この不安の解消には、妊娠や授乳と薬についての正しい理解を広めることが必要と考えています。

本サイトの内容は、当初、情報冊子として 2016 年に制作し、2016 年 10 月にメディアと一般の方々を対象としたセミナーを開催して、冊子の無償提供を行いました。

このセミナーのニュースと冊子の無償提供企画は、地方紙を中心に 72 媒体に掲載され、無償提供企画終了後も継続して行政機関、薬局や医療機関等の要望を受けて、今年 10 月末までに、冊子版は合計 5 万冊が多く現場で活用されています。

例えば、ある薬剤師会では地域の母親教室の参加者に配られるなど、積極的に活用いただきました。また、東京都福祉保健局と配布について相談のもと、都内の全保健所等に計 **10,000** 冊を配布し、妊産婦さんへのアドバイスに活用いただきました。

さらにホームページ上では、情報冊子のサイト版を 2017 年 7 月に公開、よりアクセスしやすい環境を整えました。加えて、2019 年からは、サイトに簡単にアクセスできる、QR コード付きの名刺サイズカード計 1 万 5 千枚を、保健所などの行政機関や産婦人科クリニック、薬局などの医療機関に提供してきました。



これらの取り組みが成果となって、アクセス数が徐々に拡大し、今回の 100 万アクセスに繋がったと考えています。

当協議会は今後も様々な分野において、くすりの適正使用の啓発活動に取り組んでまいります。

「妊娠・授乳とくすり」に関する協議会調査（2016年）

ご入用の方は協議会広報部までお問い合わせください。

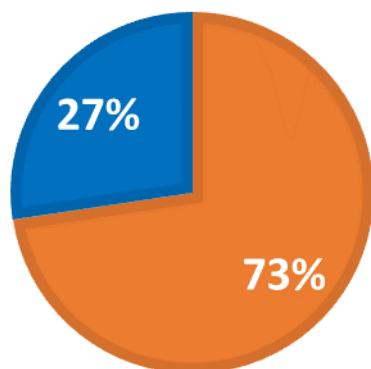
サイト「妊娠・授乳とくすり」アクセス状況（Google Analytics）

サイト開設日：2017年7月1日

累計アクセス数：1,014,447ビュー（2020年10月31日現在）

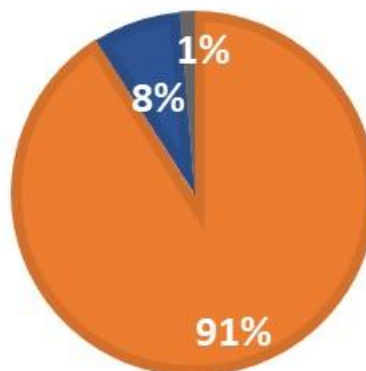
ユーザの性別※

■ 女性 ■ 男性

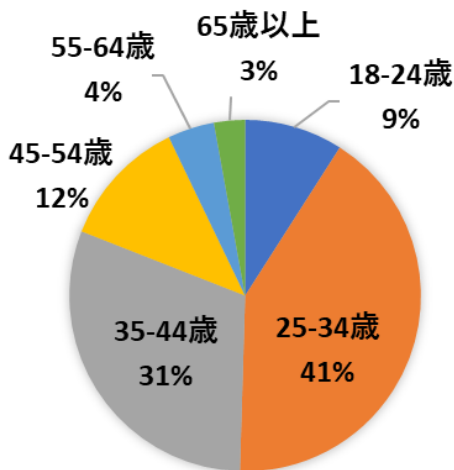


ユーザが利用している媒体※

■ スマートフォン ■ PC ■ タブレット



ユーザの年齢層※



※ 2020年10月1日～10月31日のデータを元に算出

当協議会について

くすりの適正使用協議会は、くすりの適正使用を普及・啓発するために、1989年に創立されました。「誰もが健康な生活を実現するため、信頼できる情報をもとに判断し、行動できる社会を目指す」ことをVISIONに掲げ、様々な会員が活動に参加しています。医薬品の本質を評価する「薬剤疫学」の普及促進、医療用医薬品の情報を患者さん向けに分かり易く記載した「くすりのしおり[®]」の公開、くすり教育の支援などに取り組んでいます。

以上